

グローバル・カフェ「マレーシア異文化交流会」を開催しました

2023年12月7日（木）14時20分から、グローバル・カフェでは「マレーシア異文化交流会」を実施しました。本学の学術交流協定校であるプトラ・マレーシア大学（以下、UPM）の学生10名と職員1名が "Canselorian: Global Outreach Programme" と題したプログラムで2023年12月1日～15日に来日し、プログラムの一環として、本学学生との交流のため12月7日～8日に来学しました。両大学より自国紹介ゲーム、民族衣装の紹介、対話交流などを通じて交流を深めました。日本人学生9名、留学生13名、教職員4名が参加しました。



始めに、各大学の代表者より大学紹介がありました。UPM 学生からは、大学施設の紹介として、キャンパス内にあるアジア各国の料理が楽しめるビュッフェスタイルのカフェテリアや、誰もが利用できるお祈り部屋が設置されていることが紹介されました。マレーシアはマレー系、華人系、インド系が存在する多民族国家であり、多様性に富んでいる様子が伺えました。本学からは、学生6名がそれぞれの所属学部・大学院の紹介を行いました。

続いて、伝統的な民族衣装の紹介の時間では、マレー系の男性が腰に巻く布（サンピン）や、女性の髪や首を隠すために頭に巻くヒジャブ、またバジュクロンと呼ばれる上下セットの衣装を、実際に身に着けた学生が説明してくれました。その後、日本の伝統的な衣装の紹介として、地域・産官学連携戦略室 植村友香子特命准教授より、着物の説明がありました。着物には様々な種類があること、家ごとに家紋があってフォーマルな着物にはその紋がついていることなど、写真を交えてながら説明されました。



最後は全員で「Culture（文化）とは何か？」について、ディスカッションを行いました。参加者からは、文化について、伝統、言語、人々のライフスタイル、アイデンティティ、それぞれの環境であるなど活発に意見交換がされました。UPMの学生らが、日本に来て受けたカルチャーショックとして、お箸をうまく使えなかった、ごみの分別システムに驚いたことなどを説明する場面もありました。



次回のイベントは2023年12月15日（金）「屋島お遍路体験ハイキングイベント」です。「初級日本事情 a【ロ】」の授業とのジョイントイベントです。屋島で遍路を体験することを目的とし、琴電屋島駅に13時に集合、約90分かけて屋島寺まで登ります。